

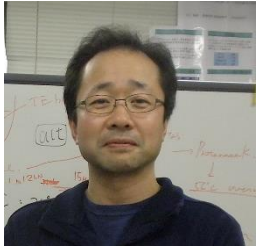
MBT NEWS LETTER

第233号
'23/09/15

< 奈良医大発ベンチャー企業 近況紹介シリーズ (第6回) >

MBT微生物学研究所株式会社

新型コロナウイルス不活化検証実績107件 (大学、ベンチャー企業で実施の合計数)
加えて、各種細菌 (細菌) の抗菌効果や菌種同定も対応可能です
化学・製薬企業はじめ会員企業の皆様、ぜひご活用を!



代表取締役社長
矢野寿一氏

- ・新型コロナウイルスが猛威を振り始めた2020年半ばから、奈良医大微生物学講座の研究室には関係企業から不活化評価を依頼する案件が多く寄せられ、2021年7月に設立のMBT微生物学研究所(株) (代表取締役社長：矢野寿一氏 左写真) との活動連携も含め、累計で107件もの不活化評価を行ってきました。
- ・奈良医大と活動連携するMBT微生物学研究所(株)は、新型コロナウイルス評価のみならず、下記に示すように、各種細菌への抗菌効果の評価や、ヒト検体の微生物調査も対応可能です。関係会員企業様、ご活用下さい。

微生物・感染症に関する
コンサルティングにも
気軽に応じてもらえます!

お問い合わせは、



<https://mbt-micro.co.jp/>

① 抗菌効果

【使用微生物】

院内感染で問題となる薬剤耐性菌

- ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科 (CRE)
- ・カルバペネム耐性緑膿菌
- ・カルバペネム耐性アシネトバクター
- ・基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ (ESBL) 産生腸内細菌科など



寒天培地に発育する耐性菌

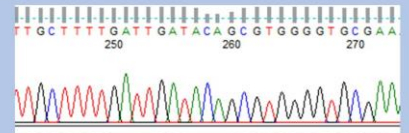
その他、多くの種類の耐性菌を保有しており希望に応じて対応可能、まずはお問合せ下さい!

【検証できるサンプル】

- ・平板状サンプル : 金属片、ガラス片、タイル片、フィルム片など
- ・液状サンプル : 次亜塩素酸、アルコール製剤などの消毒薬
- ・布状サンプル : 不織布など
- ・気体、光線 : オゾン、紫外線など
- ・各種素材 : 化学薬品、植物抽出液、光触媒、漢方薬

② ヒト検体の微生物調査 (菌種同定)

細菌の16S ribosomal RNA遺伝子の塩基配列を決定し、菌種を正確に同定します。



シーケンスによる塩基配列の決定

発行

(一般社団法人) MBTコンソーシアム、
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内

(公立大学法人) 奈良県立医科大学
担当 塩山

TEL : 0744-29-8853 (直通)、FAX : 050-3164-5598、Email: mbt@mbt.or.jp